

令和7年3月7日
独立行政法人国立科学博物館

企画展「つくば蘭展」開催および報道内覧会実施のご案内

国立科学博物館 筑波実験植物園(園長:細矢剛)では、3月16日(日)～3月23日(日)に企画展「つくば蘭展」を開催します。

世界有数の野生ラン保全施設である筑波実験植物園が保有する「つくばコレクション」から、開花中の貴重な野生種を約200点、さらに協力団体の方々が丹精込めて育てた、普段見ることのできない最新の園芸品種、そして失われつつある貴重な古典品種などを約300点、計約500点を公開する企画展を毎年開催しています。

また、今回は特別企画として、学習帳の表紙を撮り続けたことでも著名で、2022年に亡くなられた写真家・自然ジャーナリストの山口進氏が、世界各地で取材し撮影に成功したランと昆虫の共生をとらえた渾身の力作の数々を追悼展示すると共に、昆虫をだまして命をつなぐ、オーストラリアやヨーロッパの野生ランの実物を展示します。



写真：パケツラン

つきましては、本企画展の開催に先立ち、3月14日(金)13時30分～14時30分の間、報道内覧会を実施いたします。是非、この機会にご参加いただき、記事の掲載など広報に関して特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。報道内覧会への参加をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報のうえ、13時15分に筑波地区研究管理棟1階 玄関ホールにお越しください。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当:稲葉 祐一・中山 瑠衣

担当研究員:遊川 知久(植物研究部 多様性解析・保全グループ長)

堤 千絵(植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<https://tbg.kahaku.go.jp/>

【展示予定の植物と写真】

(1) 【デンドロビウム・トランキミアヌム(*Dendrobium trankimianum*)】



ベトナム南部の標高 1000~2000m の森で発見され、当園で研究し新種発表しました。

世界でもほとんど栽培されていない希少種ですが種子繁殖に成功し、次世代が育っています。展示する株は、新種発表の証拠として使った貴重な研究材料。

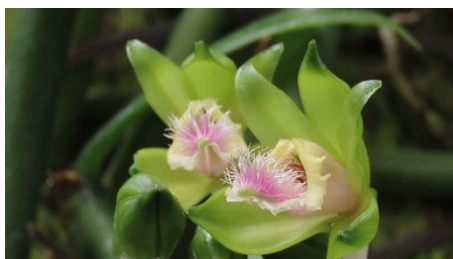
(2) 【スパトグロッティス・ポルトスフィンシ(*Spathoglottis portus-finschii*)】



ニューギニア島の低地、灼熱の草原や岩場に自生する美しい種。野焼きをする場所によく生え、現地ではこれが開花の引き金になっているという説もあります。

当園以外ではおそらく見ることはできないとても珍しい種。

(3) 【バニラ・ボルニエンシス (*Vanilla borneensis*)】



アイスクリームなどお菓子作りになくてはならないバニラの仲間。食用のバニラは熱帯アメリカ原産ですが、本種は東南アジアの熱帯雨林が故郷です。ランとしてはめずらしいツル植物で、木の上までよじ登ります。

花を咲かせるのがむずかしく、初めて咲くまで 20 年あまりかかりました。

(4) 【ジャコウキヌラン (*Zeuxine odorata*)】



環境省により絶滅危惧 IB 類に指定される稀少種です。ジャコウ(麝香)というように、すがすがしい香りをまといます。つややかに輝く大きな葉もみごと。

琉球列島(沖縄島・石垣島・与那国島)と台湾南部の島、蘭嶼の森の暗い場所にひっそりと生えます。

(5) 【ブルボフィルム・エキノキラム (*Bulbophyllum echinochilum*)】



上左：全体



上右：花

花が動くふしぎなラン。空気のわずかな流れを使って、何かを誘うように花弁の先の毛が震えます。さらに空気が大きく動くと、毛のついた花弁全体が大きく揺れます。

花弁の先のふわふわの毛と花弁の付け根のちょうつがいの2つの構造の進化で、動くものに近づく性質のあるハエの仲間を誘い、花粉を運んでもらうと推定されています。

フィリピンのルソン島で発見されてから 100 年近く記録がないため、絶滅したと考えられていました。最近、再発見されましたが、日本初公開と思われます。

(6) 展示する写真から：バケツランをめぐる小宇宙



バケツラン(*Coryanthes speciosa*)の花には、シタバチをだまして花粉を運んでもらう巧妙な仕掛けがあります。そうとは知らずシタバチが集まります。さらに蜜を求めるアリ、花を食べるゾウムシなど、さまざまな昆虫がやってきます。メキシコのユカタン半島にて 2006 年 4 月、山口進撮影。

※(1)～(5)の写真は、開花見込みのものです。生植物のため、期間中の展示をお約束するものではありません。ご承知おきください。)

企画展「つくば蘭展」実施概要

1. 目 的 世界有数の野生ランの保全施設、筑波実験植物園の「つくばコレクション」から、美しい花、珍しい花をおよそ 200 点公開します。また協力団体の方たちが丹精込めて育てた最新の園芸品種などとあわせて約 500 点のランをお楽しみいただけます。また今回は特別企画として、2022 年に多くの方々に惜しまれつつ亡くなられた写真家・自然ジャーナリストの山口進氏が、世界各地で取材し撮影に成功したランと昆虫の共生をとらえた渾身の力作の数々を追悼展示します。
2. 名 称 企画展「つくば蘭展」
3. 主 催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園
4. 協 力 つくば洋蘭会 水戸市植物公園蘭科協会 らん友会龍ヶ崎
山口進事務所 尾木克行 昭和大学富士山麓自然・生物研究所 谷亀高広
水戸市植物公園 筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
5. 会 期 令和 7 年 3 月 16 日(日)から令和 7 年 3 月 23 日(日)までの 8 日間
(期間中休園なし)
6. 場 所 教育棟、熱帯資源植物温室、園内、研修展示館
7. 展示構成

(1) 【教育棟】

(ア) 山口進写真展（第 1 会場）「蘭を愛する虫 虫を惑わす蘭」

写真家・自然ジャーナリストの故山口進氏が、ランと昆虫の共生をとらえた貴重な作品を展示します。ハチに巧みな罠を仕掛けるバケツラン、土の中で美しく咲くりザンテラ、オスバチがメスと勘違いして交尾するクリプトスティリスなど摩訶不思議な進化を遂げたランと、ランに魅惑される虫たちの織り成す驚くべき世界を紹介します。

山口進氏：生物写真家、自然ジャーナリスト。「花と昆虫の共生」をテーマに世界各地で取材や撮影をした。『地球 200 周！ふしぎ植物探検記』、『万葉と令和をつなぐアキアカネ』など多くの著作を残した。また「ジャポニカ学習帳」の表紙写真を 40 年以上にわたり撮影したことでも広く知られる。2022 年逝去。

(イ) 虫を惑わすランの実物展示

ラン研究家・尾木克行氏のコレクションから、虫をだまして命をつなぐ、オーストラリアやヨーロッパの野生ランの実物を展示します。

(2) 【熱帯資源植物温室】 世界の美しいラン

(ア) つくば洋蘭会・水戸市植物公園蘭科協会・らん友会龍ヶ崎 作品展示

愛好団体の方たちが丹精込めて育てた作品の数々を展示。最新の園芸品種もご覧いただけます。

(イ) つくば洋蘭会企画展示

ランを部屋で育てるときの栽培のポイントを実物とともに紹介します。

(3) 【研修展示館 1 階】 世界のめずらしい野生ラン

筑波実験植物園 野生ランコレクション展示

世界有数の野生ラン保全施設、筑波実験植物園の「つくばコレクション」から、美しい花、珍しい花をおよそ 200 点公開します。

(4) 【研修展示館 2 階】

(ア) 植物園で研究しました「日本のオスバチもランにだまされる」(研究紹介)

ヨーロッパの草原に生えるオフリスというランは、メスバチそっくりの花を咲かせてオスバチを誘う「だまし受粉」をおこないます。当園で育てたオフリスの花に日本のオスバチもだまされた瞬間をとらえた、谷亀高広氏の貴重な観察記録を映像とともに紹介します。

(イ) ランの香りでひと休み(体験コーナー)

ランはあらゆる植物の中で最も花の香りが多彩です。すてきな香りを放つ種類を集めました。好きなランの香りを選んだり、どんな動物がランの香りに誘われるのか考えたり・・・クイズ感覚で楽しみながらおくつろぎください。

(ウ) 山口進写真展(第2会場)「ショクダイオオコンニャクとキソウテンガイ」

山口進氏はラン以外にも、植物の驚くべき生態を世界各地で記録しました。当園でも栽培する希少植物、ショクダイオオコンニャクとキソウテンガイの貴重な野生の姿を収めた作品を展示します。

8. 関連イベント

【講座・植物園研究最前線】 ランは木にのぼる

概要：ラン科の 4 分の 3 の種は樹上で暮らします。もとは地上に生えていたランの祖先が、なぜ木の上というフロンティアに進出したのでしょうか。最新の研究をご紹介します。

日時：3 月 16 日(日) 13:30-15:00

場所：研修展示館 3F セミナー室

講師：遊川 知久(筑波実験植物園研究員)

事前予約：必要 定員 28 名(予約受付：029-851-5159 イベントの 1 ヶ月前から)

【講座・植物園研究最前線】 ランと菌の共生はどのようにおこるのか スズムシソウを例にー

概要：ランが発芽・成長するには菌が欠かせません。どんなふうに菌と共生しているのでしょうか？スズムシソウを例に成立する仕組みにせまる研究を紹介します。

日時：3月20日（木・祝） 13:30-15:00

場所：研修展示館 3F セミナー室

講師：堤 千絵（筑波実験植物園研究員）

事前予約：必要 定員 28 名（予約受付：029-851-5159 イベントの1ヶ月前から）

【展示案内】 野生ランコレクション・らん♪らん♪ガイド

概要：筑波実験植物園が世界に誇るつくばコレクション。「世界にひとつだけの花」をめぐる物語を聞いてみませんか？

日時：平日 3月18日（火）・21日（金）15:00～15:30

場所：研修展示館 1F

事前予約：不要

【オンライン講演会】 蘭を愛する虫 虫を惑わす蘭

概要：植物と昆虫の共生の記録を追求された山口進さんの仕事を紹介するとともに、昆虫を惑わすランの暮らしをさまざまな視点から紹介します。

演題：

- ・山口進さんと旅したランの魅惑の世界 菊池 哲理（NHK 統括プロデューサー）
- ・花に魅せられる昆虫、昆虫を操る花 奥山 雄大（国立科学博物館 筑波実験植物園）
- ・ラン科最小級の花を持つヨウラクランの送粉者 砂川 勇太（東京大学大学院 理学系研究科）

配信期間：3月11日9時～4月7日17時（期間限定オンデマンド配信）

事前予約：不要（詳細はオンライン講演会特設ページをご覧ください。）

特設ページ URL：<https://tbg.kahaku.go.jp/event/2025/03orchid/webinar.php>

【栽培講座】フォーラム・みんなで学ぶラン作り「温室なしでも百花繚ラン！？室内栽培最前線」

概要：お部屋の中でランを育てるポイントを、質疑応答形式でわかりやすく解説します。ご自身で育てている鉢をお持ちいただければ、会場でアドバイスします。

日時：3月23日（日） 10:30-12:00

場所：研修展示館 3F セミナー室

講師：つくば洋蘭会会員

事前予約：不要 参加者多数の場合、会場にお入りいただけない場合があります。

【ランの育て方・持ち込み相談コーナー】

概 要：みなさまのラン栽培の悩みにお答えします。会場に苗をお持ち込みいただけます。

日 時：期間中毎日 10:00～12:00 / 13:00～15:00

場 所：熱帯資源植物温室の協力団体デスク

9. 販売

■ランの鉢植え販売（教育棟） 椎名洋ラン園 望月蘭園

お部屋で楽しむことのできる、色とりどりのランの鉢植えや栽培グッズを取りそろえてお待ちしております。

■飲食店 休憩スペース（中央広場）

10. 来場者プレゼント

【つくば蘭展オリジナルポストカード】

蘭展期間中の平日に、チラシをお持ちいただいた方、各日先着 100 名様に教育棟窓口で、つくば蘭展オリジナルポストカードをプレゼントいたします。

11. その他

【平日限定モーニングフォトタイム】

一脚や三脚を使って撮影していただけます。

日時：会期中の平日 9:00～10:30

会場：研修展示館 1F

世界のランが大集合！

つくば蘭展

特別企画 山口進写真展「蘭を愛する虫 虫を惑わす蘭」



© 山口 進

2025

3/16日 - 3/23日

会期中無休

〔開園時間〕 9:00～16:30 (入園は16:00まで)

〔入園料〕 一般 320円 団体 (20名以上) 250円

高校生以下および65歳以上は入園無料
障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

詳しい内容は
こちらから！



〔協力〕 つくば洋蘭会／水戸市植物公園蘭科協会／らん友会龍ヶ崎
山口進事務所／尾木克行／昭和大学富士山麓自然・生物研究所 谷亀高広
水戸市植物公園／筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

教育棟

山口進写真展 第1会場 「蘭を愛する虫 虫を惑わす蘭」

写真家・自然ジャーナリストの故山口進氏が、ランと昆虫の共生をとらえた貴重な作品を展示します。ハチに巧みな罠を仕掛けるバケツラン、土の中で美しく咲くりザンテラ、オスバチがメスと勘違いして交尾するクリプトステリリスなど、摩訶不思議な進化を遂げたランと、ランに惑わされる虫たちの織り成す驚くべき世界を紹介します。



虫を惑わすランの実物展示

ラン研究家・尾木克行氏のコレクションから、虫をだまして命をつなぐオーストラリアやヨーロッパの野生ランを展示します。

熱帯資源植物温室

世界の美しいラン

【つくば洋蘭会・水戸市植物公園蘭科協会・らん友会龍ヶ崎 作品展示】

愛好団体の方たちが丹精込めて育てた作品の数々を展示。最新の園芸品種もご覧いただけます。

【つくば洋蘭会企画展示】

ランを部屋で育てるときの栽培のポイントを実物とともに紹介します。

【ランの育て方・持ち込み相談コーナー】

ラン栽培の悩みにお答えします。会場に苗をお持ち込みいただけます。10:00～12:00/13:00～15:00



【平日限定】モーニングフォトタイム【研修展示館1階】

平日の9:00～10:30のみ、三脚や一脚を使って写真撮影をしていただけます。 ※研修展示館1階のみ

【平日限定】来場者プレゼント【教育棟受付】

蘭展期間中の平日に、このチラシを受付にご提示いただいた、各日先着100名様に「オリジナルポストカード」をプレゼント。

ランの鉢植え販売【教育棟】

お部屋で楽しめる、色とりどりのランを取りそろえています。

研修展示館1階

世界のめずらしい野生ラン

筑波実験植物園 野生ランコレクション展示

世界有数の野生ラン保全施設、筑波実験植物園の「つくばコレクション」から、美しい花、珍しい花をおよそ200点公開します。



研修展示館2階

植物園の研究紹介「日本のオスバチもランにだまされる」

ヨーロッパの草原に生えるオフリスというランは、メスバチそっくりの花を咲かせてオスバチを誘う「だまし受粉」をおこないます。当園で育てたオフリスの花に日本のオスバチもだまされた瞬間をとらえた、谷亀高広氏の貴重な観察記録を映像とともに紹介します。

ランの香りでひと休み（体験コーナー）

ランはあらゆる植物の中で最も花の香りが多彩です。好きなランの香りを選んだり、どんな動物がランの香りに誘われるのかを考えたり…クイズ感覚で楽しみながらおくらしてください。

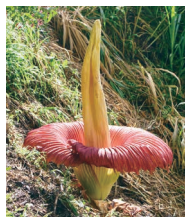
山口進写真展 第2会場

「ショクダイオオコンニャクとキソウテンガイ」

山口進氏はラン以外にも、植物の驚くべき生態を世界各地で記録しました。当園でも栽培する希少植物、ショクダイオオコンニャクとキソウテンガイの貴重な野生の姿を収めた作品を展示します。



キソウテンガイ



ショクダイオオコンニャク

イベント情報 ※各詳細はホームページをご覧ください

【講座・植物園研究最前線】 要事前予約

各講座とも開催日の1ヶ月前から受付します。
TEL 029-851-5159(受付時間8:30～17:15)

- 会場 研修展示館3階セミナー室
- 定員 28名(高校生以上)

■ランは木にのぼる

- 日時 3月16日(日) 13:30-15:00
- 講師 遊川 知久(筑波実験植物園研究員)

■ランと菌の共生はどのようにおこるのか
—スズムシソウを例に—

- 日時 3月20日(木・祝) 13:30-15:00
- 講師 堤 千絵(筑波実験植物園研究員)

【展示案内】野生ランコレクション・らん♪らん♪ガイド 予約不要

筑波実験植物園が世界に誇るつくばコレクション。「世界に一つだけの花」をめぐる物語を聞いてみませんか？

- 日時 3月18日(火)、21日(金) 15:00～15:30
- 会場 研修展示館1階

【栽培講座】フォーラム・みんなで学ぶラン作り 予約不要
「温室なしでも百花繚ラン!?室内栽培最前線」

室内でのラン栽培のポイントを質疑応答形式でわかりやすく解説します。

- 日時 3月23日(日) 10:30-12:00
- 会場 研修展示館3階セミナー室
- 講師 つくば洋蘭会会員

【オンライン講演会】蘭を愛する虫 虫を惑わす蘭 期間限定オンデマンド配信

植物と昆虫の共生の記録を追求された山口進さんの仕事を紹介するとともに、虫を惑わすランのくらしをさまざまな視点から紹介します。 予約不要

アクセス

電車・バス

- つくばエクスプレス「つくば」駅より
- ・つくバス 北部シャトル筑波山行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分
- ・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分
または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

自動車

- 常磐自動車道 桜土浦ICから北(筑波山方面)へ約8km
- 圏央道 つくば中央ICから約7km
- 無料駐車場 約120台

